

2025年6月

自発的国家レビュー（VNR）報告書がJPPFPの長年の活動に言及

本年、日本は4年ぶり3回目となる持続可能な開発目標（SDGs）に関する自発的国家レビュー（VNR）を実施し、6月10日に開催された第16回SDGs推進本部会合（本部長：石破茂内閣総理大臣）において、SDGs達成に向けた我が国の取り組みをまとめた報告書が決定されました。この報告書には、人口問題議員懇談会（JPPFP）及びその長年にわたる貢献が正式に記載されました。上川陽子JPPFP会長の働きかけにより、日本の国会議員による人口開発問題への先駆的かつ継続的な取り組みが、政府文書の中で改めて評価される形となりました。

――（以下、報告書より一部抜粋）――

国際人口問題議員懇談会（JPPFP）は、1974年に設立された非常に長い歴史を持つ超党派議連である。＜中略＞特筆すべきは、JPPFPは「持続可能な開発」という考え方にも大きな役割を果たしたことにある。SDGsの基となる「持続可能な開発」の概念の形成が行われた「環境と開発に関する世界委員会」（WCED）の設立は、当時JPPFPの国会議員が日本政府を通じて提案し、日本の拠出により設置されたものである。また、JPPFPは世界各国の国会議員、アジア、アフリカ、中東地域の議員ネットワーク、専門家、国際機関、市民社会との連携を通じて、人口問題の重要性を訴え、相互の経験を共有し、関連立法や政策形成に向けて議論するなど、課題解決のための具体的な行動を動機づけている。（P. 213）

今後、この報告書の英語版が作成され、国連に提出されたのち、来月7月に開催される国連ハイレベル政治フォーラム（HLPF）において発表される予定です。

● 外務省ウェブサイト

『SDGsに関する自発的国家レビュー（VNR）報告書』

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/20250610_vnr.pdf



VNR報告書におけるJPPFP記載箇所の参考資料となった[第8回APDA会議](#)（1992年）
大来佐武郎元外務大臣の基調講演

TICAD特集 #5

アラブ地域における法整備の進展

人口と開発に関するアラブ議員フォーラム（FAPPD）とアジア人口・開発協会（APDA）は、年次国会議員会議における議論及び提言を基盤として、アラブ諸国における人口・開発関連の法整備を推進し、大きな成果を上げています。FAPPDは、これらの成果が日本の支援によって実現されたものであるとし、深い感謝の意を表しています。

エジプト

女性に関する国家評議会、障がい者の権利、母性及び子どもに関する国家評議会、高齢者の権利に関する法律など、数多くの重要な法が制定されました。さらに、2023年以降、人口・開発に関する問題に焦点を当てたテレビ番組が制作・放送され、若者の教育や女性を取り巻く課題に対する啓発に寄与しています。

レバノン

児童婚防止を目的とした法律が提案され、2023年9月に国会人権委員会において、性別を問わず全国で婚姻の法定年齢を18歳と定める法律が承認されました。この法律では、保護者、宗教関係者、その他第三者を含め、未成年者の結婚に関与した者に対し、最長3年の懲役及び罰金を科すことが明記されています。

チュニジア

2024年に女性に対する暴力防止法が改正され、被害者のための安全なシェルターの設置や、家庭内暴力（DV）の加害者に対する厳罰化などが盛り込まれました。チュニジア女性・家族省の報告によれば、法的保護プログラムや社会サービスの利用者数が、2024年に前年比で25%増加しました。

モロッコ

15歳未満の児童労働を禁止し、教育へのアクセス改善を目的とした新たな法律が制定されました。モロッコ教育省によれば、小学校の就学率は2020年の91%から2024年には96%に上昇しています。



2024年9月FAPPDメンバーによるモロッコの女性の権利団体連合（FLDF）視察

IPPF：平和と健康の架け橋：女性・平和・安全保障（WPS）のアジェンダでSRHRを推進する

5月7～8日、国際家族計画連盟（IPPF）アラブ世界地域事務局は、「平和と健康の架け橋：セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（SRHR）を通じて女性・平和・安全保障（WPS）のアジェンダを推進する」と題した地域会議を開催しました。本会議では、アラブ地域の政策立案者、国際機関、市民社会団体などが一堂に会し、SRHRの視点から平和と再建の基盤づくりを進める道筋を共有しました。在ヨルダン日本大使館の渡邊朋子臨時代理大使も出席し、日本政府が2025年のWPSフォーカスポイント・ネットワークの共同議長を務めることに触れつつ、最も脆弱な状況に置かれた人々を包摂するにはSRHRの保障が不可欠であると強調しました。

会議の大きな成果として、WPSアジェンダの枠組みでSRHRを推進する共同プラットフォームとして機能する「地域ハブ」の設立が発表されました。（全文は[IPPFウェブサイト](#)へ）

JFPF

国際人口問題議員懇談会（JFPF）は、1974年に設立された世界で最も長い歴史を持つ人口・開発問題に関する超党派議連です。JFPFは、APDAと一体となって、人口・開発に関する議員ネットワークを作り、多様な知見や経験を共有し、具体的な成果につなげてきました。

[詳しくはこちら](#)

JFPFご入会を希望される場合は、apda@apda.jpまでご連絡下さいますようお願い申し上げます。

APDA

公益財団法人アジア人口・開発協会（APDA）は、1982年の設立以来、JFPFの事務局を務めています。

[詳しくはこちら](#)

本ニュースレターは、国際家族計画連盟（IPPF）並びに賛助会員の方々のご支援を受けて発行しています。



♥ 寄附・賛助金のお祝い

APDAは「紺綬褒章」の公益団体に認定されています。紺綬褒章は、認定された公益法人等に公益のために私財を寄附された個人や法人に授与されます。

DONATE NOW

国際人口問題議員懇談会（JFPF）事務局
公益財団法人アジア人口・開発協会（APDA）
〒105-0003東京都港区西新橋2-19-5-8F
TEL: 03-5405-8844 FAX: 03-5405-8845
E-mail: apda@apda.jp Website: <https://www.apda.jp/>
【編集責任：APDA】

 Designed with BEE